

装飾古墳の保存・管理状況の実態調査の回答一覧

番号	指定名称	6. 装飾の状況について				
		劣化の認識	過去の劣化の内容	対応	現状の問題	予測される問題点
1	山畑横穴群	無				
2	中田横穴	無				
3	清戸迫横穴	有	岩盤に含まれるマンガン成分による黒色部分の表出	県文化財課に報告し、有識者に調査を依頼	警戒区域にあるため、頻繁な点検等ができない	
4	羽山横穴	無				鉄分を含む水の浸出により、色が薄く見えるようになる
5	泉崎横穴	有	玄室内のヒビがわずかに進行壁面にカビ・塵の固着	公開を停止、環境調査の後に修復事業を実施	メンテナンスやモニタリングにかかる予算確保が難しい	新たな保存整備策が必要となってきた
6	虎塚古墳	有	石室内に小石が落下羨道部袖石に亀裂			温暖化によるカビ発生等
7	吉田古墳	無				
8	長柄横穴群	無				
9	高井田横穴	有	壁面の崩落や風化の進行	各種調査及び保存事業の実施、委員会の設置と検討	一部に風化等見られる	樹木の成長や苔菌の繁茂、風化の進行など
10	水坩古墳	無				
11	梶山古墳	無				自然劣化による壁画の退色
12	丹花庵古墳	無				現状の保存状態が継続することによる劣化
13	造山古墳第一・二・三・四・五・六古墳(造山古墳前方部上石棺)	無			手に触れることができるため、傷つけられる可能性あり	手に触れることができるため、傷つけられる可能性あり
14	造山古墳第一・二・三・四・五・六古墳(千足古墳)	有	石室内の水を抜いたところ、石障が劣化していた	委員会を設置し、対策を検討	石室内への防水措置を図り、石障の保存等を講じる	石障(砂岩)の劣化を止める技術の開発
15	丸山古墳	無			75年間、石障の状況が未確認のままである	雨水等が劣化をもたらしていないか、一抔の不安あり
16	有岡古墳群(宮が尾古墳)	無				
17	日岡古墳	無			覆屋の老朽化・小動物の侵入	生物被害の進展
18	珍敷塚古墳	有	覆屋、保存庫内等にカビが発生 装飾の一部退色	カビ除去のための保存修理事業及び環境調査を実施	覆屋の老朽化	生物被害の進展
19	鳥船塚古墳	無			覆屋の老朽化、小動物等の侵入	生物被害の進展
20	古畑古墳	無			装飾自体は安定保存活用の整備は行っていない	自然環境の影響を受けやすい状況にある
21	原古墳	無			覆屋の老朽化、小動物等の侵入	奥壁を本来の姿である石室内に戻すか否か
22	重定古墳	無			石室内への小動物等の進入	生物被害の進展
23	塚花塚古墳	無			石室内の小動物の進入等	生物被害の進展
24	古月横穴(2・6・9号墓)	有	奥壁及び左側壁部の彩色の退色及び壁面の劣化	保存整備工事により、壁面を薬剤にて強化		壁面の劣化
25	日輪寺古墳	無			覆屋内部が乾燥しており、見学時に土埃が舞う	保存施設(覆屋)の老朽化
26	浦山古墳	無			覆屋内部が乾燥しており、見学時に土埃が舞う	保存施設(覆屋)の老朽化
27	下馬場古墳	有	一時的・部分的なカビの発生等	発生源の石室外除去壁面もアルコールにて除去	保存室壁面からの塩の析出、保存室の老朽化	長期的には石材表面に見られる白い析出物の動向
28	田主丸古墳群(寺徳古墳)	有	石室調査後、一時的にカビの発生 雨水・虫等の浸入	石室内を消毒、人の出入りを制限現在は安定している	雨水及び生物の侵入扉の老朽化	近年の極端な大雨時の雨水の影響
29	田主丸古墳群(西館古墳)	無			埋め戻されているため、内部が未確認	埋め戻しているため、内部を確認する必要がある
30	田主丸古墳群(中原塚古墳)	有	部分的なカビの発生竹根や雨水の浸入虫等の侵入	原因となる竹根や虫の死骸を石室外に除去	保存措置が暫定的なため、根本的な対応が必要	本来的に保存環境に問題を抱えており、課題は多い
31	竹原古墳	有	石室内への泥の落下の増加	文化庁等の指導の下に対応を検討中	石室内への雨水や泥の侵入、カビの発生等	雨水や泥水の浸入による環境の悪化、生物被害等
32	王塚古墳	有	石室の損壊、雨水の侵入、カビの発生等	専門委員会の指導の下、整備事業を実施	現状では特に問題なし	温暖化の進行による対応(カビの発生等)
33	八女古墳群(弘化谷古墳)	無			現状は特に問題はなく、壁面環境も落ち着いている	
34	八女古墳群(石人山古墳)	無			石室内にコケ類・虫類が棲息温度も一定ではない	生物被害の発生、石材の劣化など
35	八女古墳群(丸山塚古墳)	無			埋め戻し措置により、内部の変化が確認出来ない	昆虫類の進入によるカビ発生と装飾の劣化
36	八女古墳群(乗場古墳)	有	壁面部分の外部において、カビの発生を確認	アルコールによるカビの除去	保護施設の老朽化による石室内部の不安定化	昆虫類の進入によるカビ発生と装飾の劣化
37	桜京古墳	無			閉塞の密閉性が低いため、雨水の流入が想定される	
38	穴ヶ葉山古墳	無			現状では特に問題なし	
39	萩ノ尾古墳	無			石材の間に竹根が繁茂羨道部天井分より砂の落下	生物被害の進展、石室内環境の変化など
40	五郎山古墳	有	彩色の退色 黴の発生	保存施設の設置、温湿度管理、溶液散布による殺菌	屋外温湿度計の観測ができていない	彩色の退色及びカビの発生
41	仙道古墳	無			石室内は特に問題なし	墳丘の崩落
42	田代太田古墳	有	前室を中心に装飾部分以外で、カビの発生を確認	専門家に対応を相談、指導に従ってカビを除去	現状は特に問題はなく、装飾がある中室・後室の環境は落ち着いている	墳丘上の木の根による石室の影響
43	西隈古墳	有	風雨等による土砂の流れ込み	定期的な点検・観察	線刻等に特に問題は無いが、風雨等による土砂の流入	石室内に土砂が流れ込む可能性がある
44	沓岐古墳群(双六古墳)	無				
45	沓岐古墳群(対馬塚古墳)	無				
46	沓岐古墳群(兵瀬古墳)	無				
47	四日市横穴群(一鬼手62号)	無			覆屋の劣化が懸念される	
48	四日市横穴群(加賀山39号)	無			覆屋の劣化が懸念される	
49	四日市横穴群(加賀山40号)	無			覆屋の劣化が懸念される	
50	鬼塚古墳	有	カビ等の発生、落書き	墳丘の修復や排水工事の実施、扉の設置	現状特に問題はないが、点検に努める必要がある	見学者による新たな線刻、毀損行為など
51	千代丸古墳	有	玄室入口付近に釘状の金属による落書が認められた	玄室入口の柵の施設、見学を許可制に変更		
52	法恩寺山古墳群(3号墳)	有	カビの発生、竹の根の主体部侵食	カビについては自然消滅竹の根を除去	カビの発生が不定期に見られる	
53	穴観音古墳	有	カビの発生、装飾部分の結露と白色化墳丘の崩落	環境調査や墳丘崩落の応急処置を実施	石表面が乾燥と結露を繰り返している恐れがある	乾燥と結露を繰り返すと、劣化が進む可能性あり
54	グランドヤ古墳(1号墳)	有	カビ等の発生石等が結露し、剥落した痕跡が見られた	カビを除去後、環境調査の上、乾燥状態にする処置	保存施設を整備予定するが、経過観察が必要	
55	グランドヤ古墳(2号墳)	有	装飾部分の石等が結露した	自然科学専門家の指導を受け、環境調査を実施中	石表面が乾燥と結露を繰り返している恐れがある	石室上部に生えている木の根による石室への影響
56	鬼ノ岩屋古墳(1号墳)	有	内部にカビが発生した	専門家に対応を相談、指導に従ってカビを除去	石室内の石材に亀裂が走っているところがある	コウモリの糞によるカビの発生等が心配されている
57	鬼ノ岩屋古墳(2号墳)	有	内部にカビが発生した	専門家に対応を相談、指導に従ってカビを除去	雨水が流入し、石室壁部の石材が床に落ちている	雨水による装飾の薄れやカビの発生など
58	弁慶ヶ穴古墳	有	乾燥が激しい	公開を中止し、1年間にわたって市が温湿度計測を実施		保存施設の老朽化によって温湿度の変化が大きくなる
59	鍋田横穴	有	過去に、装飾部分に亀裂が入った	亀裂の進行防止のため、コンクリートを敷設	コンクリートのアクが析出し、27号墓の装飾部分が白く汚れている	亀裂が入り、それが進行して崩落する
60	チブサン・オブサン古墳(チブサン古墳)	無	過去に、カビが発生した	S50 カビ処理を実施	市独自の年間を通した温湿度のデータを収集していない	保存施設の老朽化
61	大村横穴群	有	未整備の岩盤の崩落	立ち入り規制や保存修理工事を実施	未整備の箇所近年岩盤の崩落が認められる	除草作業など日常管理業務が困難
62	江田船山古墳 附 塚坊主古墳・虚空蔵塚古墳(塚坊主古墳)	無	過去に、石室内にカビが発生した	速やかにカビ処理を実施		
63	石貫ナギノ横穴群	有	崖面が崩落装飾がコケに覆われている部分がある		覆屋等を施していないため風雨に曝される	
64	石貫穴観音横穴	有	装飾の彩色部分が地衣類に覆われている	着生植物の除去	覆屋等を施していないため風雨に曝される	
65	大坊古墳	無	過去に、石室内にカビが発生した	状況を観察していき、自然消滅	保存施設(昭和53年設置)の経年劣化	
66	永安寺東古墳・永安寺西古墳(永安寺東古墳)	無			保存整備後は古墳本体に大きな変化は見られない	将来には、ゲリラ豪雨による保存施設の経年変化
67	永安寺東古墳・永安寺西古墳(永安寺西古墳)	有	近年の豪雨により、古墳本体を覆う保存施設に亀裂が入った	応急処置と防水シートの敷設災害復旧工事を実施	保存整備後は古墳本体に大きな変化は見られない	近年のゲリラ豪雨等による保存施設・天井部の老朽化
68	釜尾古墳	無		目視による退色の恐れがあり、公開を停止及び温湿度のモニタリング	天井部の結露が激しい	水滴による装飾面の浸食、コンクリート天井の凹面なし
69	千金甲古墳(乙号)	無		目視による退色の恐れがあり、開口部をふさぎ、覆屋をかいた	年間を通した温湿度のデータがない	
70	千金甲古墳(甲号)	無		公開の中止温湿度変化の観測(H10～11 写真撮影時、異常なしを確認)		墳丘盛土の流出と、石室内部でのカビの発生
71	塚原古墳群(石之室古墳)	無				
72	井寺古墳	有	安政大地震による石室の傾斜、奥石障にカビなどが発生	県立装飾古墳館による温湿度等のモニタリングを実施	石室入口の扉の密閉性に問題がある	左記の密閉性の影響を慎重に判断する必要あり
73	小田良古墳	無	海拔7m、島原大変肥後迷惑の際、津波により墳丘の流失	昭和54以降 埋戻し後、覆屋設置		

装飾古墳の保存・管理状況の実態調査の回答一覧

番号	指定名称	問題点に対する対策
1	山畑横穴群	
2	中田横穴	
3	清戸迫横穴	
4	羽山横穴	壁面にしみ出る水分量のコントロール
5	泉崎横穴	維持管理にかかる費用の捻出が難しいため、補助金の創設を希望
6	虎塚古墳	空気の汚染状況について詳細に分析を行い、除菌や洗浄などとして対応
7	吉田古墳	
8	長柄横穴群	引き続き保存状況を点検する必要がある
9	高井田横穴	経過観察の実施により、各要因の環境の改善の再検討
10	水尾古墳	
11	梶山古墳	経過観察の実施を行い、必要に応じて専門家の指導を仰ぐ
12	丹花庵古墳	劣化の進行を止めるような設備の設置
13	造山古墳第一・二・三・四・五・六古墳(造山古墳前方部上石棺)	保存施設等を検討する必要がある
14	造山古墳第一・二・三・四・五・六古墳(千足古墳)	学際的な検討体制の整備
15	丸山古墳	今後何らかの方法で状況を確認することを考えていきたい
16	有岡古墳群(宮が尾古墳)	
17	日岡古墳	施設の再整備等、こまめな清掃
18	珍敷塚古墳	施設の再整備等、こまめな清掃
19	鳥船塚古墳	施設の再整備等、こまめな清掃
20	古畑古墳	保存活用のための整備が必要である
21	原古墳	施設の再整備等、こまめな清掃
22	重定古墳	こまめな清掃
23	塚花塚古墳	こまめな清掃
24	古月横穴(2・6・9号墓)	経過観察と壁面補強措置
25	日輪寺古墳	埃については、覆屋内部の床面の検討保存施設の修理、建替え
26	浦山古墳	埃については、覆屋内部の床面の検討保存施設の修理、建替え
27	下馬場古墳	析出物の分析・原因究明・長期的な観察
28	田主丸古墳群(寺徳古墳)	墳丘整備(環境の変化を検討した上で)
29	田主丸古墳群(西館古墳)	状況確認
30	田主丸古墳群(中原狐塚古墳)	墳丘全体を含めた環境整備
31	竹原古墳	施設の再整備を現在検討中
32	王塚古墳	定期的観察による状態の把握
33	八女古墳群(弘化谷古墳)	
34	八女古墳群(石人山古墳)	定期観察の継続と、再整備の検討
35	八女古墳群(丸山塚古墳)	内部確認のための再発掘調査及び保護施設の建設
36	八女古墳群(乗場古墳)	保護施設の改修
37	桜京古墳	指導委員会の指導のもと、整備計画を策定中
38	穴ヶ葉山古墳	
39	萩ノ尾古墳	竹の根は切断する今後、定期的に観察し、対策方針を決める
40	五郎山古墳	定期的な観察の継続、再整備の検討中
41	仙道古墳	定期的な観察の継続
42	田代太田古墳	石室観察および環境調査を継続して行う
43	西隈古墳	文化財審議委員による視察と問題点の把握、定期点検の実施
44	沓岐古墳群(双六古墳)	
45	沓岐古墳群(対馬塚古墳)	
46	沓岐古墳群(兵瀬古墳)	
47	四日市横穴群(一鬼手62号)	近い将来に改修が必要となる
48	四日市横穴群(加賀山39号)	近い将来に改修が必要となる
49	四日市横穴群(加賀山40号)	近い将来に改修が必要となる
50	鬼塚古墳	見学には必ず立会い、注意を喚起する
51	千代丸古墳	
52	法恩寺山古墳群(3号墳)	カビの経過観察を行い、必要に応じて専門家の指導を受ける
53	穴観音古墳	予備的環境調査を実施し、専門家の指導のもとに対策を検討
54	ランドヤ古墳(1号墳)	保存施設整備の実施
55	ランドヤ古墳(2号墳)	木を除去した後に1号墳同様の整備を実施する
56	鬼ノ岩屋古墳(1号墳)	コウモリへの対策、墳丘の崩落防止のための整備を実施
57	鬼ノ岩屋古墳(2号墳)	墳丘の盛土を保護する整備等による対策
58	弁慶ヶ穴古墳	墳丘封土の調査と再盛土、保存施設の強度調査 過去に、市が環境調査を行った(H4 県がレプリカを作成)
59	鍋田横穴	亀裂の進行及び崩落の防止対策を検討 H4 県が27号墓のレプリカを作成
60	チブサン・オブサン古墳(チブサン古墳)	保存施設の強度調査(H23～ 県立装飾古墳館が環境調査実施)
61	大村横穴群	管理業務に対する補助事業の充実(H4 県が11号墓のレプリカ作成)
62	江田船山古墳 附 塚坊主古墳・虚空蔵塚古墳(塚坊主古墳)	H20～ 県立装飾古墳館が環境調査実施
63	石貫ナギノ横穴群	公有化を進め保護設備を整える
64	石貫穴観音横穴	覆屋等の保護設備を施す
65	大坊古墳	将来的な保存施設の改修(市・県立装飾古墳館が環境調査実施)
66	永安寺東古墳・永安寺西古墳(永安寺東古墳)	定期的なメンテナンスが必要(市・県立装飾古墳館が環境調査実施)
67	永安寺東古墳・永安寺西古墳(永安寺西古墳)	定期的なメンテナンスが必要(市・県立装飾古墳館が環境調査実施)
68	釜尾古墳	コンクリート天井の状況確認及びその他対策の検討を行う H20～ 県立装飾古墳館が環境調査実施
69	千金甲古墳(乙号)	現状の確認及び温湿度計測、定期点検の必要あり
70	千金甲古墳(甲号)	鉄扉にある腐食した隙間をふさぐ H23～ 県立装飾古墳館が環境調査実施
71	塚原古墳群(石之室古墳)	
72	井寺古墳	環境維持のために密閉性を高める方策を考慮する必要がある H21～ 県立装飾古墳館が環境調査実施
73	小田良古墳	保存管理を確立した上で、装飾を公開する形で保存整備を行う 今後、被災した文化財の整備の在り方も検討(H3 県がレプリカ作成)